

28 堀小〔2〕学年・学級 経営プラン

◆学年目標

- ◎ 自分で考え 行動する子ども
- 友達にやさしくする子ども
- ねばり強くがんばる子ども

◆学年経営 (学校経営計画を受けて学年・専科として重点にしていくこと)

〔方針〕

- ・日々の生活や学習において、どのように行動したらよいかを自分で考え、実行していく力を育てる。
- ・学年や学級の中で、お互いに認め合いながら、友達と共に日々の生活を楽しく過ごしていくようにする。
- ・失敗しても諦めずに学習に取り組み、新しいことに挑戦しながら、よりよい生活を送れるようにする。

〔重点的な取組〕

- ・学校生活の中で起こる様々な問題も学びの1つととらえ、解決に向けてどうしたらよいかを考える力をつけていく。分からることは聞いて考えながら、自分の判断で行動できる力を育てる。
- ・一人一人の特性や能力をよく見つめ、その子らしさを大切にしていくように努める。そして、お互いの良さを認め合い、苦手なところは助け合っていけるような雰囲気作りをしていく。
- ・課題をもって最後まで取り組ませることで、学習面では分かるようになる喜びを味わわせ、もっと知りたいという気持ちにつなげていく。また、生活面では責任感を育み、達成感を味わわせる。

◆学級経営 (学級づくりの方針・特に大事にすること・配慮すること)

1組

- ・学習の基礎・基本、学習規律の定着を重視し、スムーズに学習が進められるようにする。学年で教材研究をして授業改善に努め、「もっと知りたくなる授業」をめざす。
- ・学級・学年の一人一人の児童と積極的に関わって信頼関係をつくる。また、望ましい人間関係を形成し、思いやりの心を育てる。
- ・一人一人の児童に集団の一員としての自覚と自立心をもたせる。堀小スタンダードをもとに学校生活に必要なことを身に付けていく。そして、自分の判断で正しく行動できる力を育てる。
- ・家庭との協力関係を築き、安心で安全な学級・学年づくりをする。

2組

- ・学習規律を身に付け、基礎基本の定着と学力の向上を目指し、個に応じた指導を充実させていく。また、児童が「もっと知りたくなる授業」を目指し、学年で教材や道具の共有、指導方法の統一を図り、授業改善を行う。
- ・登下校時や休み時間に児童一人一人と言葉を交わし、学級のみならず学年全員と積極的に関わる。その中で互いを助け合う心情を育む。
- ・学級として一つの目標に向かって努力し、集団で協力することの大切さを味わわせる。そして、全員で成長していくことができる学級づくりをする。
- ・児童が一人一人が安心して学校生活が送ることができるよう家庭と連携を図る。

3組

- ・学習規律、学校生活のルールを定着させ、全員が滞りなく学習を進め、自信をもって学校生活が送れるようにする。
- ・学習計画、学習手順を綿密に立て、分かりやすい授業づくりをする。更に、自己研鑽に励み、よりよい授業づくりに努める。
- ・当番活動等を通して、責任感を育み、最後までやりぬく力を付けさせ、達成感を味わわせる。
- ・お互いのよさを認め合いながら、共に助け合い、一緒に成長していく学級づくりをする。
- ・保護者との連携を密にし、信頼されるように努め、協力関係を築く。